

もくひょう 目標3

ち い き ぜ ん た い 地域全体で、こどもの育ちを支え合うまち

その1 けん り そん ち ょ う い し き き ょ う ゆ う 子どもの権利を尊重する意識の共有

と く な い よ う 取り組む内容

- ① こどもの権利が大切にされる町になるよう、こどもたちも自分の権利をもっていることをみんなに伝え、よく理解してもらうようにします。
- ② アンケートや直接お話を聞いたりしてこども本人の意見を聴き、こどもにとって最も良いことを考えて、町の計画に取り入れます。



その2 み ま も あん ぜん あん しん かん き ょ う こどもを見守る安全安心な環境づくり

と く な い よ う 取り組む内容

- ① 若者や子育て中の家庭が安心して住み続けられるように地域の住宅や住みやすい環境を整えます。また、こどもの通学路やふだん通る道が安全になるように、道路や交通の環境をしっかりと整えていきます。
- ② 地域での見守り活動や防犯パトロールを強化し、こどもの安全を守ります。また、こどもがタバコや薬物、犯罪、インターネット上の危険などから自分の身を守るための知識を広げる取組を行います。



その3 そだ ち い き わ みんなでこどもを育てる地域の輪づくり

と く な い よ う 取り組む内容

- ① 放課後児童クラブや放課後子ども教室、児童館など、家の中以外でも安心して過ごせるこどもの居場所づくりを行います。
- ② 環境に関する学習、自然の中での体験、あゆまつりなどの地域の行事を通して、学んだり体験したりできる機会を増やします。また、こどもが地域の伝統や文化にふれることができる機会をつくりまします。



<やさしい版>

こう さ ま ち けい か く 甲佐町こども計画

れい わ ねん ど 令和8年度 (2026年度)
 ねん ど
 れい わ ねん ど 令和11年度 (2029年度)

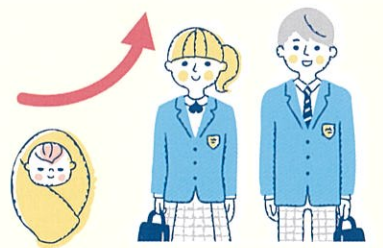
こども計画とは

こども計画とは、甲佐町に住んでいるこどもや若者、子育て世代の方を支えるために、甲佐町が行っていくいろいろな取組や目標をまとめたものです。みんなが安心して、もっと幸せに過ごせるように、いろいろなサポートを考えています。



けい か く かん けい ひ と 計画に関係する人

生まれたばかりの赤ちゃんから、保育園や学校に通う「こども」、卒業して少し大人になった「若者」、こどもを育てている「子育て世代」の方など、みんなに関係する計画です。



けい か く 計画のテーマ

計画では、基本となるテーマを決めています。このテーマのもと、すべてのこどもや若者が未来へきぼうをもって自分らしく生きていける町を目指します。

けい か く 計画のテーマ

み ら い こ 未来へかがやけ こうさっ子

この計画をつくるために、こどもや若者、子育てをしている人たちにアンケートをしました。また、インターネットの意見箱で、こどものまわりの環境について、「こうしたらいいな」という考えやアイデアを集めました。

もくひょう おも とりくみ 3つの目標と主な取組

3つの目標を決め、目標を達成するために取り組む内容を考えました。

もくひょう *目標1*

すべての家庭が、安心して子どもを生み育てることが
できるまち

その1 ちいき こそだ せたい しえん 地域における子育て世帯への支援

と く ないよう 取り組む内容

- ① ちいき ほいくえん あず とりくみ びょうき ほいく かあ
地域や保育園で子どもを預かる取組や病気のときの保育など、お母さん、
お父さんの子育てを支えるサービスを充実させます。
- ② ちいき こそだ しえん おやこ こうりゅう ば つく
地域子育て支援センターに、親子の交流の場を作ります。
また、子育て中のお父さんやお母さんの相談にのり、
やくだ じょうほう つた
役立つ情報を伝えます。
- ③ こそだ ひと かね こま
子育てする人がお金のことで困らないようにサポートします。



えんじょ ひつよう かてい しえん その2 援助の必要な子どもや家庭への支援

と く ないよう 取り組む内容

- ① がっこう み まわ せいかつ きず
子どもが学校や身の回りの生活で傷つけられないように、
まち そうだんまどぐち がっこう ふくし しごと だんたい
町の相談窓口と学校や福祉の仕事にたずさわる団体などが
きょうりょく ふせ たす
協力して、防ぎ、助けます。また、ひとりで子どもを育
てている家庭の相談にのり、必要な支援の情報を伝えます。
- ② しょう かくべつ ひつよう
障がいなどで特別なサポートが必要な子ども
についての相談や、医療が必要な子どもへの
しえん ふくし とく
支援、福祉サービスなどに取り組みます。



もくひょう *目標2*

こども・若者が心身ともに健やかに育ち、学び、
自立を支えるまち

その1 はは こ けんこう 母と子の健康づくり

と く ないよう 取り組む内容

- ① まち かてい あか う まえ
町のこども家庭センターが、赤ちゃんが生まれる前から
う 生まれた後まで、だれでも きがる そうだん ばしょ
体と心のケアなど、ていねいなサポートをします。
- ② う あか ほ ごしゃ う おも けんこう
生まれたばかりの赤ちゃんやその保護者が「受けてよかった」と思える健康
しんさ おこな は たいせつ た もの ただ まなぶ
診査を行います。また、歯を大切にすることや、食べ物について正しく学ぶ
ことを広めて、こどもとお母さんが元気にすごせるようにしていきます。



たし がくりよく ゆた こころ はぐく かんきょう その2 確かな学力と豊かな心を育むための環境づくり

と く ないよう 取り組む内容

- ① がっこう まな きも たいせつ
学校では、こどもの「もっと学びたい」という気持ちを大切にします。さら
に、がいこく まな がくしゅう たいけん まな がくしゅう つか
外国のことを学ぶ学習や、体験しながら学ぶ学習、パソコンなどを使
う学習なども充実させ、いろいろな学びができる環境を整えます。
- ② がっこう こま
学校で困ったことがあったとき、スクールカウンセラーなどに
いつでも相談できるようにして、学校が安心して通える場所と
なるようにします。



わかもの その3 若者のライフイベントへのサポート

と く ないよう 取り組む内容

- ① どう かあ しごと
お父さんやお母さんが仕事をしながらでもこどもとの
じかん たいせつ きょうりょく かじ
時間をもつことを大切に、協力して家事をする
しゃかい
社会にします。
- ② けっこん かた む おこな
結婚や子どもをもつことをのぞむ方に向けたサポートを行います。

